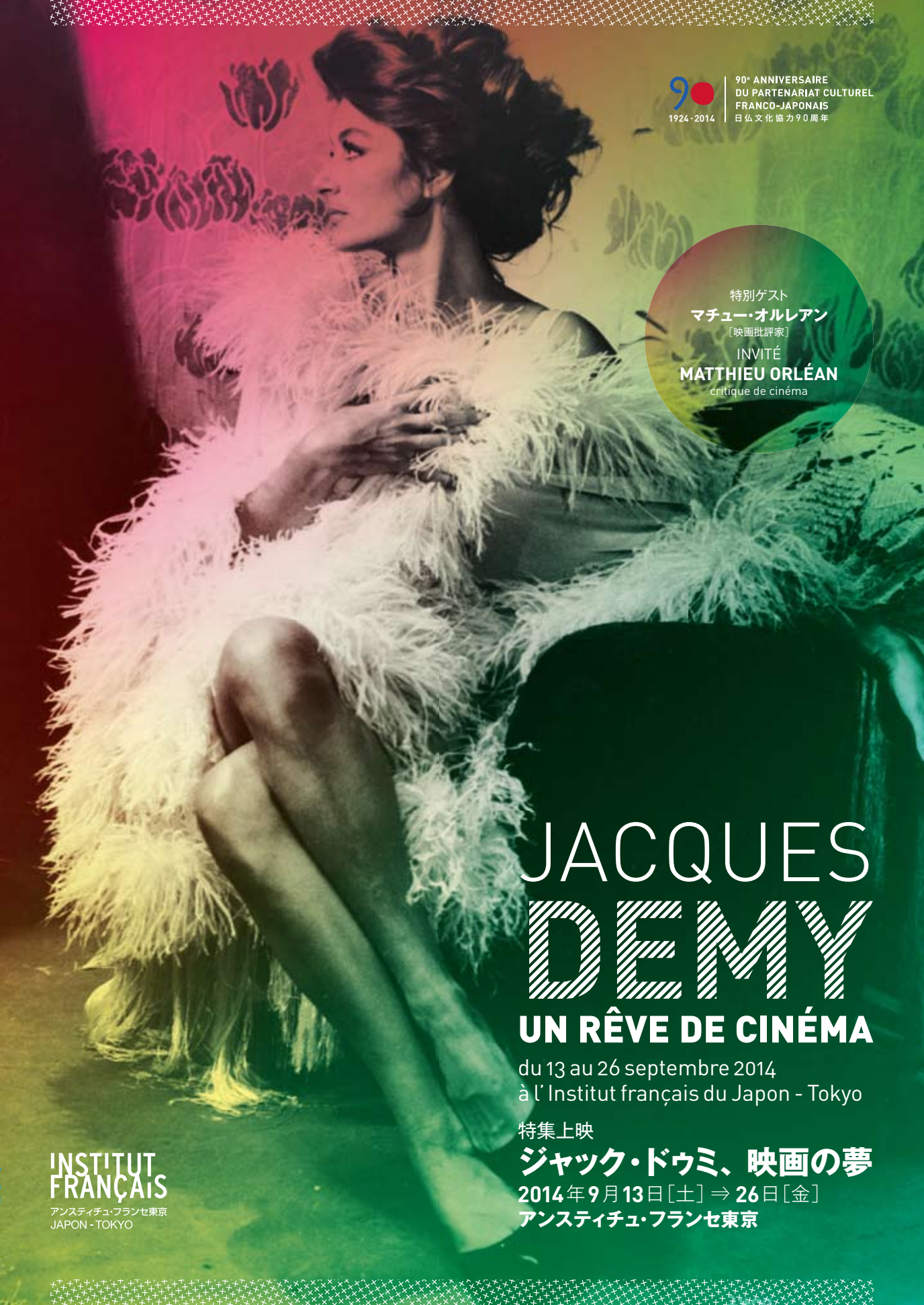

90
1924・2014
90e ANNIVERSAIRE
DU PARTENARIAT CULTUREL
FRANCO-JAPONAIS
日仏文化協力90周年
特別ゲスト
マチュー・オルレアン
［映画批評家］
INVITÉ
MATTHIEU ORLÉAN
critique de cinéma
JACQUES
DEMY
UN RÊVE DE CINÉMA
du 13 au 26 septembre 2014
à l' Institut français du Japon - Tokyo
特集上映
ジャック・ドゥミ、映画の夢
2014年9月13日［土］⇒ 26日［金］
アンスティチュ・フランセ東京
INSTITUT
FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ東京
JAPON - TOKYO

特集上映 ジャック・ドゥミ、映画の夢 JACQUES DEMY UN RÊVE DE CINÉMA

昨年パリのシネマテーク・フランセーズで開催され大成功をおさめたジャック・ドゥミ展がいよいよ東京国立美術館フィルムセンターにて開催されます。現実とスペクタクル、おとぎ話、伝説との境界、あるいは思春期から大人への境界、ある場所から別の場所への境界で、出逢い、すれ違い、別れ、そして再会する人々の運命が交差し、特権的な瞬間が生まれるドゥミの世界。しかしフランス映画史の中でも最も独創的なジャック・ドゥミの映画世界は、上映された数本の代表作以外、日本では、いまだその全貌が知られていません。同展覧会によってその奥深く、多様なドゥミの世界が紹介されるのを機に、デジタル修復された作品、あるいは日本で上映される機会があまりない珍しい作品をアンスティチュ・フランセ東京にて上映します。シネマテーク・フランセーズのキュレーターで「ジャック・ドゥミ 映画／音楽の魅惑」展覧会コミッショナー、映画評論家のマチュー・オルレアンによるレクチャーも予定しています。

Après la grande exposition et rétrospective de Jacques Demy organisée à la Cinémathèque française en 2013, cette exposition sera reprise au National Film Center à Tokyo cette automne. L'Institut français du Japon-Tokyo va présenter à cette occasion cinq films de Jacques Demy en version restaurée et quelques films rares du réalisateur. Une conférence de Matthieu Orléan, commissaire de l'exposition Jacques Demy, est aussi prévue.

マチュー・オルレアン Matthieu Orléan
シネマテーク・フランセーズの企画協力者であり、これまでに2013年に大成功を収めたジャック・ドゥミ展のコミッショナーを務めたほか、「アルモドバル展」「デニス・ホッパーとアメリカン・ニューシネマ展」なども担当している。映画評論家として「ポール・ヴェキアリ、映画の家」（ロィユ社、2011年）を発表。

上映作品 PROGRAMME

ローラ *Lola*
（1961年／85分／デジタル・リマスター版／モノクロ／日本語字幕付）
出演：アヌーク・エーメ（ローラ/セシル）、マルク・ミシェル（ロラン・カサール）、ジャック・アルダン（ミシェル）、コリンヌ・マルシャン（デイジー）、エリナ・ラブールデット（デノワイエ夫人）
舞台は、ドゥミの生まれ故郷でもある港町ナント。キャバレーの踊り子ローラは、幼い息子を抱え、忽然と7年前に姿を消した恋人ミシェルの帰りを待っている。幼なじみのロランは思い続けていたセシル（ローラ）に10年ぶりに再会し、彼女にプロポーズするが断られ、失意の中、アフリカへ旅立つことを決意する。そんな時、キャデラックに乗った一人の男が現れる…。眩いほどに美しいドゥミの長編処女作。
冒頭、ドゥミが敬愛していたマックス・オフュルスの『快楽』のテーマが流れる。そして、デノワイエ婦人がかつて踊り子だったことを示す写真は、婦人を演じるエリナ・ラブールデットが出演した『ブーローニュの森の貴婦人たち』のスチル写真である。また、ローラのその後の人生は『モデル・ショップ』で描かれ、ロランは『シェルブールの雨傘』に再登場する。ドゥミの人物たちの人生は、こうして一本の作品を超えて、彼の他の作品、他の映画作家の作品へと流れ出してゆく。

天使の入江 *La Baie des Anges*
（1963年／82分／35mm／モノクロ／日本語字幕付）
出演：ジャンヌ・モロー（ジャッキー・ドメストル）、クロード・マン（ジャン・フルニエ）、ポール・ゲール（キャロン）
銀行員のジャックは、同僚キャロンの悪影響を受け、ギャンブルに染まってゆく。それを知った厳格な父から勘当を喰らった彼はパリを離れてニースの安ホテルに居を構え、「天使の入江」のカジノ通いを始める。ある日カジノで出会ったブロンドの女性ジャッキーに惹かれるジャックは、彼女とパートナーになって勝ち続けてゆく。ある夜ふたりは大負けし、一文無しのジャッキーは人生をやり直す勇気を与えてくれるように彼に懇願する。果たしてふたりを繋ぐのはギャンブルの偶然だけなのか、それとも愛なのか？ ドゥミの作品に共通するオープニングの秀逸さにおいても本作のそれは格別と言える。南仏のひとけのない海岸、アイリスから広がるジャンヌ・モローの姿、それはミシェル・ルグランのテーマ曲を従えながら、永遠に続くキャメラの後退運動によってやがて路上のうちに消え去る。
「この映画で最も描きたかったのは情熱のメカニズムだ」——ジャック・ドゥミ

モデル・ショップ *Model Shop*
（1969年／92分／デジタル・リマスター版／カラー／日本語字幕付）
出演：アヌーク・エーメ（ローラ/セシル）、ゲーリー・ロックウッド（ジョージ・マシュー）、アレクサンドラ・ヘイ（グロリア）
若い女優グロリアと暮らしているジョージは、兵役に出発する前日、手形の支払いが滞っている車のために100ドルを友達に借りに行き、そこで白い服を着た美しい女性を見かける。衝動的にその女の後をついて行くと、彼女は素人の写真家たちにモデルを貸し出すスタジオ〈モデル・ショップ〉の中に姿を消す。ジョージはその中に入り、その女性ローラと再会し、彼女を撮影する。ローラはアメリカで夫に見捨てられ、息子のいるフランスへの切符のためにそこでお金を稼いでいた。ふたりは一夜をともに過ごし、ジョージは車の手形のためのお金を彼女に渡す。アヌーク・エーメ演じるローラが再び登場する『ローラ』の続編である本作は、68年当時のロサンジェルスについての「詩的なポートレート」でもある。なお、当初ドゥミはジョージ役にハリソン・フォードを考えていたが製作会社が望まず、『2001年宇宙の旅』で知られるロックウッドが演じることになった。

都会のひと部屋 *Une chambre en ville*
（1982年／90分／デジタル・リマスター版／カラー／日本語字幕付）
出演：ドミニク・サンダ（エディット・ルロワイエ）、リシャール・ベリ（フランソワ・ギルボー）、ダニエル・ダリュー（マルゴ・ラングロワ）、ミシェル・ピコリ（エドモン・ルロワイエ）、ジャン＝フランソワ・ステヴナン（ダンビエル）、ファビアンヌ・ギヨン（ヴィオレット・ベルティエ）
舞台は港町ナント。スト中の労働者たちが機動隊と相対している。労働者の中には、冶金工フランソワ・ギルボーの姿もある。彼は息子を失ったラングロワ男爵夫人のもとに間借りしていて、ヴィオレットという恋人がいる。男爵夫人の娘エディットはテレビ販売店を経営するエドモンのもとに嫁いでいる。嫉妬深い夫に嫌気をさしたエディットは、ある晩、裸体に毛皮のコート1枚という姿で家を飛び出し、フランソワに会いに行く。愛を誓い合うふたりだったが、ふたりの身の上に次々と悲惨な事件が起こる…。
「生きてゆくため、つまらない給料を手にするため、そして愛を貫き、満たされるためには、人は嫌でも闘わなくてはなりません。愛や思想のために命を捧げる人だっています。情熱的な人たちです。私は、この映画で、不条理なまでに激しい情熱を描きたかったのです」——ジャック・ドゥミ

パーキング *Parking*
（1985年/95分/デジタル・リマスター版/カラー/英語字幕付）
出演：フランシス・ユステール（オルフェ）、ケイコ・イトウ（ユリディス）、ジャン・マレー（アデス）、ローラン・マレ（カライス）、マリー＝フランス・ピジエ（ペルセファーヌ）
ジャン・コクトー『オルフェ』を80年代に舞台にしたら？ オルフェウスの神話を大胆に翻案したロック・ミュージカル。大人気のミュージシャン、オルフェはユリディスを愛し、ふたりは幸せな日々を過ごしていた。しかし、コンサートのリハーサル中、オルフェは事故で倒れてしまう。冥界の支配者アデスは、彼の死が誤りであることを認め、オルフェは地上に戻るが、今度は最愛のユリディスがドラッグで命を落としてしまい、彼女を迎えに再び冥界へと赴く…。製作面で困難に見舞われ、多くの技術スタッフも初めて組む者ばかりで、幸福なミュージカル作家ドゥミのイメージからは遠いものがあるかもしれないが、配役の多国籍性、混乱を極める筋書き、ドラッグ、フェミニズム、同性愛といった同時代的な主題など、その困惑そのものに時代の空気が痛々しいほどに刻印されている。

想い出のマルセイユ *Trois places pour le 26*
（1988年／103分／35ミリ／カラー／日本語字幕付）
出演：イヴ・モンタン（本人）、マチルダ・メイ（マリオン）、フランソワーズ・ファビアン（ミレーヌ）、マチュー・ドゥミ（テルドリアン）
故郷マルセイユにミュージカル公演のために帰るイヴ・モンタン。彼はその公演の中で、自身の人生を歌と踊りで振り返ってゆく。かつての恋人と再会し、モンタンは自分に娘がいたことを知る。遺作となるこの作品には、ドゥミ映画になくてはならないセーラー服の水兵、未婚の母、驚くばかりの原色の世界が繰り広げられている。ドゥミとモンタンが映画を作るという企画を初めて話し合ったのは、68年、ハリウッドにおいてだった。夕暮れ時にドライヴをしながら、ドゥミとヴァルダ夫妻、モンタンとシモーヌ・シニョレ夫妻は、将来、一緒にミュージカル映画を作る夢を語り合い、それから20年後の本作でようやく彼らの夢が実現する。
＊東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

ジャック・ドゥミ Jacques Demy
1931年6月5日、フランスのロワール・アトランティック県ポン・シャトー生まれ。子供の頃から人形劇を自作自演してみたり、幻燈を作ったりしながら、ごく自然に映画の世界へと導かれてゆく。49年にパリに出て、写真映画学校に通った後、フランス・アニメーションの父、ポール・グリモーらの助監督をつとめる。56年に短編処女作「ロワール渓谷の木靴職人」を撮り、以後59年までに5本の短編作品を手掛ける。60年に待望の長編処女作『ローラ』を発表。低予算ながら、後のドゥミ映画の要素を凝縮した作品で、「ヌーヴェルヴァーグの真珠」と称えられる。62年1月9日に女流監督アニエス・ヴァルダと結婚。63年には、忘れがたい名作『シェルブールの雨傘』を発表。64年カンヌ映画祭グランプリを受賞し、世界的に大ヒットを記録した。本作主演のカトリーヌ・ドヌーヴもこの作品によって、一躍その美しさ、才能が知られるようになる。ついでドヌーヴとフランソワーズ・ドルレアックの姉妹主演の『ロシュフォールの恋人たち』(66)を監督。69年には初のアメリカでの作品『モデル・ショップ』を撮る。79年には池田理代子原作のコミック『ベルサイユのばら』を撮るが、フランスではいまだ未公開であり、幻の作品となっている。『都会のひと部屋』(82)ではあらたにドミニク・サンダをヒロインに迎え、故郷ナントを舞台にしたミュージカルを撮る。遺作となった『想い出のマルセイユ』では、長年ドゥミとの仕事を切望していたイヴ・モンタンを主演に迎える。1990年10月27日、映画に包まれたその生涯を閉じる。享年59歳。

上映スケジュール
CALENDRIER

9月13日［土］ 13 septembre	13:00	**パーキング** *Parking* 〔95分／英語字幕〕
	15:30	**都会のひと部屋** *Une chambre en ville* 〔90分／日本語字幕〕
	18:00	**想い出のマルセイユ** *Les 3 places pour le 26* 〔103分／日本語字幕〕
9月14日［日］ 14 septembre	15:30	**天使の入江** *La Baie des Anges* 〔82分／日本語字幕〕
	18:00	**パーキング** *Parking* 〔95分／英語字幕〕
9月19日［金］ 19 septembre	19:00	**都会のひと部屋** *Une chambre en ville* 〔90分／日本語字幕〕
9月20日［土］ 20 septembre	13:00	**ローラ** *Lola* 〔85分／日本語字幕〕
	15:30	**モデル・ショップ** *Model Shop* 〔92分／日本語字幕〕
	18:00	**天使の入江** *La Baie des Anges* 〔82分／日本語字幕〕
9月21日［日］ 21 septembre	15:30	**ローラ** *Lola* 〔85分／日本語字幕〕
	18:00	**モデル・ショップ** *Model Shop* 〔92分／日本語字幕〕 上映後、マチュー・オルレアンによるレクチャーあり suivi d' une conférence de Matthieu Orléan
9月26日［金］ 26 septembre	19:00	**想い出のマルセイユ** *Les 3 places pour le 26* 〔103分／日本語字幕〕

展覧会情報

ジャック・ドゥミ 映画／音楽の魅惑
Le monde *enchanté* de Jacques Demy

N F C

会期 2014年8月28日（木）⇒12月14日（日）
*月曜日および9月9日（火）〜9月12日（金）、10月14日（火）〜10月23日（木）は休室

会場 東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室
＊企画展面積：約130m²
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6-7F

主催 東京国立近代美術館フィルムセンター
シネマテーク・フランセーズ
展覧会 企画制作 シネマテーク・フランセーズ
共同制作 シネ・タマリス

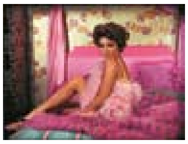
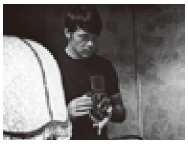
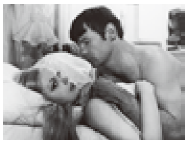
料金
- 一般210（100）円
- 大学生・シニア70（40）円
- 高校生以下無料

＊ 料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。
＊ （ ）内は20名以上の団体料金です。
＊ 大ホールで企画上映をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

概要
昨年パリのシネマテーク・フランセーズで行われた展覧会の初のアジア巡回で、スチル写真や撮影スナップ、美術デッサンや製作資料、さらにドゥミ本人の芸術作品も加えて、時に晴れやかに、時にはメランコリックに、多彩なファンタジーを生み出したその生涯と仕事をたどります。専門家によるトークイベントのほか、日本がドゥミに手を差し伸べて実現した合作映画『ベルサイユのばら』（1978年）の特別上映会も予定されています。

来日ゲスト（予定、9月後半）
マチュー・オルレアン（本展覧会コミッショナー）
＊トークイベント等の開催を予定しています

問い合わせ先 03-5777-8600（ハローダイヤル）

■ プログラムはやむを得ぬ事情により変更されることがありますが予めご了承下さい ■ 入場料金：会員500円／学生800円／一般1,200円 ■ チケット販売時間：上映当日各回の1時間前から上映開始20分後まで ■ 上記チケット販売時間内には、当日すべての回のチケットをご購入いただけます ■ 開場：20分前 ■ 全席自由。整理番号順での入場とさせて頂きます ■ 上映開始20分後の入場は、他のお客さまへの迷惑となりますので、固くお断りいたします

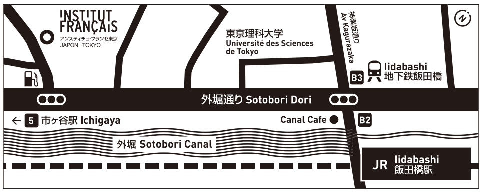
■ Tarifs: adhérents : 500 yens, étudiants : 800 yens, plein tarif : 1200 yens ■ Les billets seront mis en vente 1 heure avant chaque séance, et jusqu' à 20 minutes après le début de chaque séance. ■ Ouverture des portes 20mn avant la séance. ■ Placement libre. Des jetons seront distribués à l' entrée dans l' ordre d' arrivée des spectateurs. ■ L' accès à la salle sera interdit à tout retardataire au-delà de 20 minutes après le début de la séance.

特集上映 ジャック・ドゥミ、映画の夢

主催 アンスティチュ・フランセ日本 **助成** アンスティチュ・フランセ パリ本部／ユニフランス・フィルムズ **アンスティチュ・フランセ日本 映画プログラム オフィシャル・パートナー** 笹川日仏財団／アニエスベー **フィルム提供** シネ・タマリス、東京国立近代美術館フィルムセンター、パーク・サーカス

JACQUES DEMY, UN RÊVE DE CINÉMA

organisé par l' Institut français du Japon **; avec le soutien de :** Institut français, Fondation Sasakawa, agnès b., uniFrance Films **; merci à :** Ciné-tamaris, National Film Center, Park Circus



会場・お問い合わせ：
アンスティチュ・フランセ東京
〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15
tel. 03-5206-2500 fax. 03-5206-2501
www.institutfrancais.jp/tokyo

INSTITUT FRANÇAIS

Liberté • Égalité • Fraternité
RÉPUBLIQUE FRANÇAISE
在日フランス大使館

agnès b.

uniFrance films